



ここが好き、 やっぱり好き

第6次川島町総合振興計画 [概要版]

まちづくりキャッチコピー

「ここが好き、やっぱり好き」に込めた想い

地域の明日に必要なものは、この地に根差した愛着と誇りです。今住んでいる方にとっては、日々の暮らしの中で「好き」を感じるまち。他のまちに移り住んだ方にとっては、町外に住んで始めてわかる「好き」を感じるまち。そして、今後新たに住む方にも「好き」と思ってもらえるまち。どの場合も、川島町が「好き」だからこそ、その良さを伝えていくことができます。このように、川島町に関わる方々がこのまちに愛着と誇りを持ち、それぞれの夢を実現するまちをみんなで築いていきたいという想いを表したものです。

ここが好き、やっぱり好き

川島町の未来を考える「総合振興計画」を定めるにあたって、

私たちはまず、町民の皆さんの声を聞くところからはじめました。

そこで皆さんが口々に語られたのは、とにかくこのまちが好きだという想いでした。

春には桜や菜の花が咲き誇り、心が踊る新しい季節。

アニメや映画のワンシーンのように、日本の原風景を思わせる青い空とセミの声。

キンモクセイのかおりに乗って聞こえてくるのは、秋の虫の大合唱。

厳しい寒さでも冷えた心を温めてくれる、美しい白鳥の群れ。

私たちは、そんな大好きな川島町をまもり、しっかりと次の世代につないでいきたい。

そして、安全に安心して、楽しく暮らしやすいまちをつくるためには何が必要なのか、

これからも皆さんと一緒に考え、川島町の未来を豊かに育んでいきたいと思えます。

まちづくりの方針

第6次川島町総合振興計画では、令和3年度から令和12年度までの10年間を展望し、まちづくりの方針となる「基本構想」を策定しました。

2030年のまちの姿

川島町の将来像を次のとおり設定します。

- 安全・安心な暮らしが未来へ続く希望のあるまち
- 人と人との温かいつながりを感じることができるまち
- 元気な産業と働く人の活力に満ちあふれたまち
- 未来へはばたく人財が育つまち

まちづくりの柱と目標

まちづくりの柱となる4つの取組と、効果を測定する評価指標を設定します。

まもる

国や県との連携により社会基盤を適正に維持・管理し、本町ならではの地域基盤を次の世代に継承し、豊かな自然を将来にわたり伝承します。

つなぐ

人と人がつながる場を町民と事業者、町が協働で充実させ、居心地が良く、住み続けたいまちづくりを進めます。

つくる

地域経済の活性化に向けた取組を充実させ、多様で魅力的な産業により雇用を創出し、町の稼ぐ力を向上させます。

そだてる

魅力的な教育・学習環境により、町民一人ひとりの変化する社会に対応する力を育み、新しい時代で活躍する人財を育成します。

[評価指標]

住みよさ町民満足度*

現状値 (R2)
63.2%

目標値 (R7)
66.0%

目標値 (R12)
70.0%

* 令和2年度に実施した「第6次川島町総合振興計画策定のための町民アンケート」における「住みよさ」に関する設問の回答を点数化した上で平均値を求め、達成度を数値化したもの。

まちづくりの柱 1

好きを“まもる”



近年増加する甚大な自然災害や社会情勢が著しく変化する中、誰一人取り残すことなく町民の安全・安心な暮らしを守るため、福祉支援制度や社会生活基盤の整備に取り組みます。

“まもる”取組



災害に備える環境整備

いつ起こるかわからない災害への備えを充実させるため、国や県と連携しながら防災設備の強化を図ります。



持続可能な循環型社会の実現

今ある豊かな自然を守り、未来へ継承するため、資源を適正に循環するための体制整備に取り組みます。

【主な施策】

自治・コミュニティの振興 / 消防・防災体制の充実 / 人権尊重・男女共同参画の推進 / 交通安全の推進 / 健康づくりの推進 / 福祉のまちづくり / 障がい者福祉の充実 / 高齢者福祉の充実 / 社会保障の充実 / ごみ処理適正化の推進 / 自然環境と共生するまちづくり / 緑あふれる安心空間の整備 / 安心して暮らすための河川の整備 / 住みよいまちづくり / 上下水道の整備・維持管理及び生活排水対策 / 安全に通行できる道路の整備 / 持続可能な公共交通網の形成 / 農地保全と有効利用 / 公共施設の適正な管理 / 適正な行財政運営の推進

未来に続く安全・安心な暮らしをまもる

近年増加する
自然災害などにも
負けないまちづくりを
推進します。

災害が不安…

町の自然や環境が心配…

持続可能な
社会の実現を目指し、
町の豊かな自然と
生活環境を守ります。



将来安心して生活できるかな…

誰もが安心して
暮らせるように、
地域福祉の充実を
図ります。

まちづくりの柱 2

好きを“つなぐ”



近年、地域コミュニティの希薄化が顕著になる中、町民同士がつながることができる場を整備し、居心地の良さや生きがいを感じて暮らすことのできるまちづくりを進めます。

“つなぐ”取組



つどいの場の創出

日々の生活に充実感や安心感を与えることができるコミュニティづくりに取り組みます。

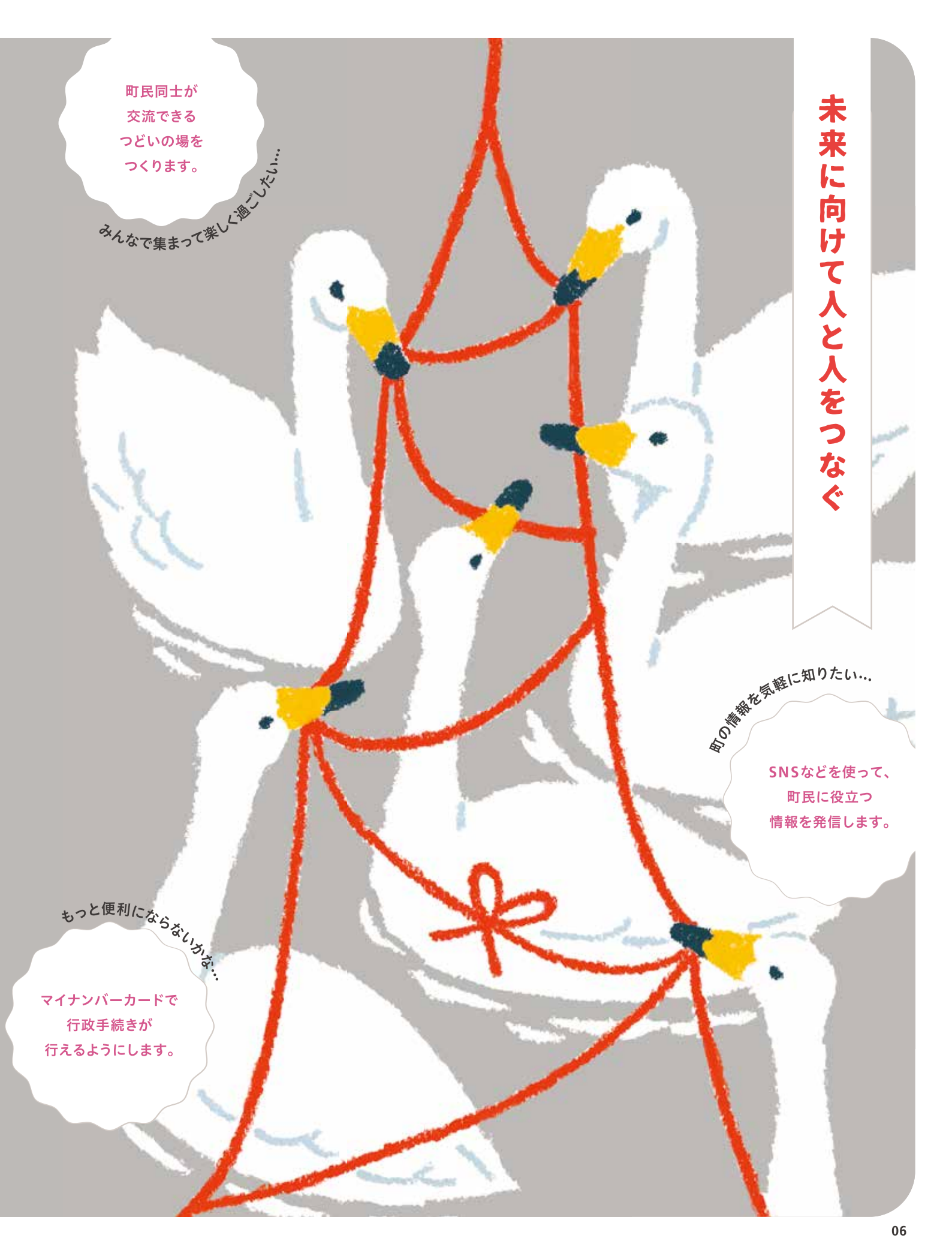


新しい自治体コミュニケーションの推進

町民に効果的に情報を発信するため、新たな情報発信ツールの活用を推進します。

【主な施策】

多文化共生社会の推進 / ふれあいの場の充実 / いきがいの創出 / 青少年の地域参加の推進 / 新しいつながりの創出 / 文化財の保護・活用及び伝統文化の継承 / デジタル化の推進 / 広域連携の推進



町民同士が
交流できる
つどいの場を
つくります。

みんなで集まって楽しく過ごしたい...

未来に向けて人と人をつなぐ

町の情報を気軽に知りたい...

SNSなどを使って、
町民に役立つ
情報を発信します。

もっと便利にならないかな...

マイナンバーカードで
行政手続きが
行えるようにします。

まちづくりの柱 3

好きを“つくる”



町の特性を活かし、特産品や農地など地域資源の総動員による「稼ぐ力」のさらなる向上を図るため、官民が連携した魅力的なビジネスの創出に取り組みます。

“つくる”取組



川島インターチェンジ周辺整備の推進

地域経済の活性化と雇用創出の核となる企業集積の基盤として、川島インターチェンジ南側地区の整備・拡充を推進します。



地域資源の総動員による稼ぐ力の向上

町内に点在する地域資源を最大限に活用し、相乗効果の発揮による地域経済の活性化を図ります。

【主な施策】

魅力ある土地利用 / 地域特性を活かした農業振興 / 活気ある事業活動の推進 / 地域資源を活かした観光振興 / 新たな行政サービスの導入 / 官民連携の推進

未来へ輝く稼ぐ地域をつくる

地域経済の
活性化を図るため、
地域商社を
設立します。

町を元気にしたい...

地元で働きたい...

川島インターチェンジ
周辺を整備し、
働く場所を増やします。



やりがいがあるかも...

若い農業従事者を育成し、
特産品のブランド化を
推進します。

まちづくりの柱 4

好きを“そだてる”



新しい時代を生き抜く力を育むため、学校や家庭、地域が連携し、魅力的な教育・学習機会の充実を図ります。
また、子育てがしやすいまちづくりの推進に力を入れていきます。

“そだてる”取組



夢を育む新たな学校づくり

子どもたちが夢と希望を持って学ぶことができるよう、学校規模の適正化を踏まえた新しい学校づくりを推進します。



社会を生き抜く人財の育成

未来を見据え、社会生活を送るために必要な能力・資質、そして町への愛着を持った子どもを育てます。

【主な施策】

新たな生涯学習の推進体制構築 / 生きる力を育む学校教育の推進 / 心と体を育む教育環境の整備・充実 / 多様な学習機会の充実 / 子育て支援・児童福祉の充実

教育に最新技術を取り入れるなど、社会で活躍する人財育成を支援します。

子どもたちの未来のために...

未来へはばたく人財をそだてる

もっと学びたい...

子どもからお年寄りまで、誰もがいきいきと学習できる機会の充実を図ります。



第6次川島町総合振興計画の詳細は、
川島町のホームページにてご覧いただけます。
URL : <https://www.town.kawajima.saitama.jp>

令和3年10月発行

発行：川島町

編集：川島町政策推進課

住所：〒350-0192 埼玉県比企郡川島町大字下八ツ林870番地1

TEL：049-297-1811

表紙イラストについて

これは、町民の方から寄せられた「川島町の好きなところ」をイラスト化したものです。「ここが好き」という一瞬を一枚のイラストにまとめ、第6次川島町総合振興計画の基本理念「ここが好き、やっぱり好き」を表現しています。